



コロナ禍での体験が自分自身の力となる

9月になってからは台風などの影響で雨が続きたり、急に気温が上がり暑くなったりと、過ごしにくい日々が続きましたが、やっと秋らしい天候へと移り変わっております。保護者・地域の皆様方におかれましては、ますますご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。また、保護者の皆様におかれましては、8月27日(土)に大変お世話になり、PTAでグラウンドの草引き作業を実施いたしました。生徒の皆さんも参加してくれて、草の生い茂った厳しいグラウンドの状態ではありましたが、体育祭の実施に向け整備をしていかねばならず、皆様のお力をお借りして、なんとかグラウンドも息を吹き返し、体育祭を実施できる状態に至りました。この日には赤とんぼ(アキアカネ)が悠然とグラウンドを飛び回り、いよいよ秋が近づいてきたのだなと感じました。そもそも赤とんぼはこの時期に生まれて現れるのではなく、暑い夏の間は山地に移動し、気温がゆるむ秋には平地に戻ってくるそうです。秋の訪れを告げてくれているのだと思い、見ておりました。作業にご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

さて、数は減少しましたが、コロナウイルス感染症の影響は依然、舞鶴市でも続いております。昨年度の学校だよりでもこの時期の内容としては、やはりコロナ感染の話題であったように思います。同じ内容のことを書いている今、コロナの影響というのは本当に簡単には改善されない厳しいものであったことを改めて痛感しております。そもそもパンデミック(世界的大流行)が起こると5年は影響を与え続けるような話を専門家がしていたのを思い出しました。それがこうして現実になっているのだと感じております。昨年度は緊急事態宣言の影響で、2学期予定していた行事も実施日を繰り下げて厳しい日程で行わなければならない現状でしたが、本年度は感染予防をしながら生徒には行事を体験させてあげたいという方針のもと、予定通りの日程で実施できております。1年生のふるさと学習を9月9日に実施いたしました。当日少し天気が悪くはありましたが、1年生としては初めての校外での活動でした。コロナの影響で大変心配しながらでの活動でしたが、ルールを守り立派に学習を終えてくれています。お世話になりました各事業所の皆様、ありがとうございました。また2年生は8月31日に、英語の授業で次年度自分たちが体験する修学旅行の見学先について調べ、お世話になる旅行業者の方を招いて、英語でプレゼンテーションするという斬新な発表をしてくれました。大変緊張しながらの発表だったと思いますが高い評価をいただいております。3年生はいよいよ最後の体育祭となりました。実施に向けて放課後、演技の練習の中心となり取り組んでくれました。コロナの感染予防を心がけながら、大声を出すことにも気を使っていかなければなりませんでした。この行事を通してリーダー的な役割を果たすことで、今後の進路の実現に向けての大きな力となるはずです。また、体育祭を参観いただきます保護者の皆様の数も制限させていただき、さらに、地域の皆様には当日を含め練習期間中は放送機器やドラムの音などで、ご迷惑をおかけしたと思います。何卒、お許しいただきますようお願い申し上げます。

9月に行われた新人戦では、雨のため中止になってしまった競技もありましたが、1、2年生にとっては新チームとなってその成果を試す良い機会となり、力いっぱい試合に臨んでくれました。9月16日には激励会で新しいチームのキャプテンが決意を述べてくれましたが、今後ももう一度、気持ちを新たに、新チームの力を高めていくためにも気を引き締めて、感染予防を意識しながらではありますが部活動の練習に励んでほしいと思っております。スポーツを通して困難なことから逃げないで立ち向かう勇気やチームの信頼や思いやりなど人間性を培う場であると考えれば、このコロナ禍での経験も自分を振り返り、自分を成長させる貴重な機会であると考えます。

10月以降も、保護者・地域の皆様のお力をお借りし、コロナウイルス感染症の感染拡大状況も見ながら、行事や校外活動の運営を進めて参りたいと思っております。どうかよろしく願いいたします。

校長 荒賀 洋

